

6. 新計画の方向性 (案)

○景観形成は長期的な視点で取り組んでいくものであることから、景観形成の理念や目標像は維持しながら改定を進めていく。
○景観形成の基本方針については、これまでの方向性を維持しながら、「人々の価値観が変化の中で花や緑の大切さが再認識されていること」や「歴史資源の価値や景観保全を重要視する機運の高まり」の視点を明確化する方向で検討を進めていく。

現計画の理念、目標像、基本方針

景観形成の理念

- 理念1 都市景観は、市民の共有財産である
- 理念2 市民参加による都市景観の形成
- 理念3 長期的な視点を持つ
- 理念4 地域性、個性を活かす

景観形成の目標像

- 顔のあるまち
- 個性がいきるまち
- 魅力を感じるまち

景観形成の基本方針

1 九州・アジアの交流拠点にふさわしい魅力ある景観づくり

- 風格と賑わいと潤いのある景観形成
- エリアマネジメント組織など地域団体と共働による景観づくり

2 緑や水辺を守り、活かした景観づくり

- 海や山など豊かな自然を保全活用し、潤いのある景観づくり
- 豊かな自然を感じる景観づくり
- 市民や地域団体との共働による景観づくり

3 計画的市街地整備にあわせた賑わいと活気のある景観づくり

- 市民団体等の支援など地域主体の景観づくり
- 本市の顔となる景観づくり(九大学研都市、アイランドシティ)

4 歴史と文化を活かし、刻の厚みを感じられる景観づくり

- 来街者にも喜ばれる風格のある景観づくり
- おもてなしに配慮したまちづくり(回遊ルート、案内サイン等)

新計画の方向性 (案) 目標年次：令和16 (2034) 年度

景観形成の理念

- 理念1 都市景観は、市民の共有財産である
- 理念2 市民参加による都市景観の形成
- 理念3 長期的な視点を持つ
- 理念4 地域性、個性を生かす

景観形成の目標像

- 顔のあるまち
- 個性がいきるまち
- 魅力を感じるまち

景観形成の基本方針

1 九州・アジアの交流拠点にふさわしい魅力ある景観づくり

- 風格と賑わいと潤いのある景観づくり
- 市民や来街者が歩いて楽しめる賑わいや界隈性などを感じられる景観づくり
- エリアマネジメント団体など地域との共働による景観づくり

2 みどりを守り、創り、活かした景観づくり

- 花や緑、水辺など豊かな自然を守り、創り、生かす潤いや安らぎを感じる景観づくり
- 豊かな自然を感じる景観づくり
- 質の高いパブリックスペースの形成に向けたみどりを活かした景観づくり
- 地域との共働による景観づくり

3 計画的なまちづくりにあわせた賑わいと活気のある景観づくり

- 地域団体等の支援など地域との共働による景観づくり
- 個性を生かした景観づくり(箱崎キャンパス跡地など)
- 形態、意匠など周辺の自然環境やまちなみと調和のとれた景観づくり

4 歴史と文化を守り生かす、刻の厚みを感じられる景観づくり

- 高さや形態、意匠などを誘導して歴史と文化を守り生かす刻の厚みを感じられる福岡らしい景観づくり
- 歴史資源への市民の関心の向上など地域との共働による景観づくり
- 歴史資源を生かした景観づくり